

企業立地推進事業

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第 16 回の今日は、「企業立地推進事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 現在、三島市では企業の誘致活動にとっても力を入れているようですが、そこにはどのような狙いがあるのでしょうか。

市長： 三島市では、平成 28 年度に策定した「住むなら三島・総合戦略～まち・ひと・しごと創生～」のもと、若者の結婚から子育てまでの希望をかなえ、魅力的で品格あるまちづくり・ひとづくりを進め、幅広い世代の方々や企業から選ばれる都市の創生に取り組んでいます。

三島市の更なる発展に向けて安定的な財源を確保するには、雇用の拡大が大変重要であると考えています。

このため、観光産業の振興、三島駅南口周辺の開発とともに、企業誘致は今、三島市が最も優先する施策に位置付けており、令和元年度も引き続き総力をあげて、企業誘致活動に取り組んでおります。

アナ： なるほど、これからますます三島が発展していくために、企業誘致というのは大変重要な鍵のひとつになるということですね。

市長： そのとおりです。三島市内で若い世代が安心して働くことのできる雇用環境の整備を図り、生産年齢人口の増加に繋げていきたいと思っています。

アナ： 具体的にはどのような取り組みをされているのでしょうか。

市長： 平成 18 年度に専門部署となる企業立地推進課を立ち上げ、市外の企業に対して三島市への誘致活動を行うとともに、市内にある既存の企業には設備投資や人材の確保・育成等、さまざまな事業活動のサポートを行い、働く場を増やすように努めています。

特に現在、三ツ谷工業団地への企業誘致につきましては、重点的に推進しているところであります。

アナ： 新たに造成された工業団地ですね。規模はどのくらいでしょうか。

市長： 総面積は約 21 ヘクタールで、全 6 区画の分譲面積が 11.4 ヘクタールになります。これほどの大きさですので、1,000 人規模の雇用が生まれるものと期待しています。また、車で 5 分圏内には伊豆フルーツパークや三島スカイウォークがあり、近い将来、更に賑わいを増すエリアになることは間違いありません。

アナ： これからは、箱根に向かう国道 1 号沿いに注目ですね。ところで、三ツ谷工業団地で操業するのは、どのような企業なのでしょうか。

市長： 現在のところ、食料品製造業、物流業など4社の進出が決定しており、そのうち1社がこの春から操業を開始しました。まだ空き区画がございますので、引き続き、環境に配慮した優良企業の誘致を進めて参ります。
また、工場見学ができる企業も誘致して、産業の拠点だけでなく観光の拠点としての役割も果たしてほしいと考え、交渉を進めています。

アナ： 「働く人」と「訪れた人」で賑わう工業団地とは素敵ですね。非常に楽しみです。工業団地以外では、何か企業誘致の取り組みをされていますか。

市長： 工業団地とは別の場所におきましても、工場や研究所、物流施設などの企業誘致を並行して進めておりますが、平成29年度からは、今後大きな成長が期待されるIT企業や、産業支援サービス等を行う企業の「サテライトオフィス」などの事業所の誘致を推進しています。

三島市には新幹線三島駅があることから、優位な立地を活かした効果的な取り組みができるものと考え誘致を進めました結果、これまでに4社の企業に「サテライトオフィス」の事業所を開設していただき、その他に現在も複数の企業と交渉を継続しております。

アナ： 2年余りで4社の進出が決まったのですよね。このようなオフィスを誘致すると、どのようなメリットがあるのですか。

市長： オフィスですので、比較的小規模な事業所となることが多く、工場ほど多くの雇用者数は期待できませんが、多様な職種の企業に立地していただくことにより、多くの若者にとって、自分の就きたい仕事に三島市内で就職できるようになります。また、街中のにぎわい創出や、移住定住の施策においても効果があるものと考えております。

アナ： 一言で企業誘致と言っても、いろいろな形があることが分かりました。これから1社でも多くの企業の誘致を進めていただいて、ますます三島市を賑わいのある元気な街にしていきたいと思えます。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。